

通訳案内士 採点甘く?

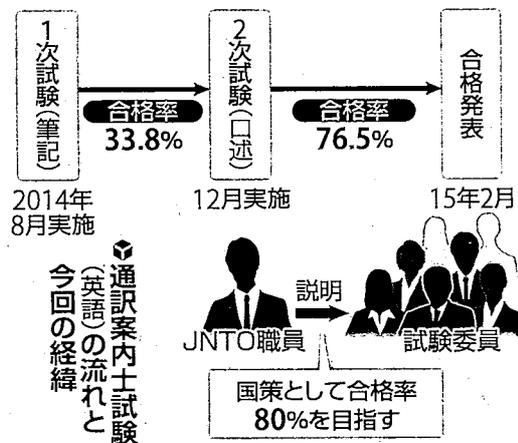
担当職員「国策で合格率増」

外国人観光客向け有料ガイド通訳案内士(通)の昨年度の口述試験前に、試験事務を担う日本政府観光局(JNTO)の担当者が、採点役の試験委員に対し、「国策として80%の合格率を目指す」と発言していたことが、関係者への取材でわかった。採点は受験者の絶対評価が原則。「発言が採点に影響した」とする試験委員もあり、専門家は「合格基準に達しないガイドを生みかねない」と発言を問題視している。

試験委員「発言、影響した」

複数の関係者によると、問題の発言があったのは、昨年12月7日に行われた英語の口述試験の直前。全国3か所の試験会場のうち東京都内の会場で、JNTOの担当者が70人以上の試験委員に注意事項を説明した後、「東京五輪も控えており、国策として80%の合格率を目指す。将来性も加味して採点してほしい」などと話したという。

試験は筆記(1次)と口述(2次)に分かれ、口述試験は日本人と外国人の試



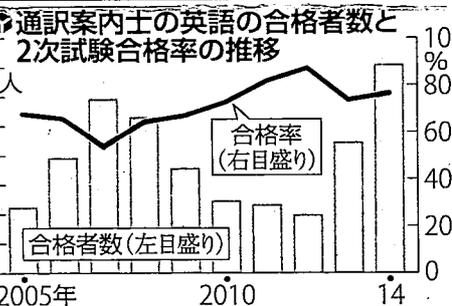
外国人客1300万人ガイド不足

今回の「発言」の背景には、日本が官民挙げて観光立国を目指していることがある。

訪日外国人数は昨年初めて年間1300万人を突破。政府は、東京五輪・パ

今回の「発言」の背景には、日本が官民挙げて観光立国を目指していることがある。

訪日外国人数は昨年初めて年間1300万人を突破。政府は、東京五輪・パ



今回の「発言」の背景には、日本が官民挙げて観光立国を目指していることがある。

訪日外国人数は昨年初めて年間1300万人を突破。政府は、東京五輪・パ

今回の「発言」の背景には、日本が官民挙げて観光立国を目指していることがある。

訪日外国人数は昨年初めて年間1300万人を突破。政府は、東京五輪・パ

今回の「発言」の背景には、日本が官民挙げて観光立国を目指していることがある。

訪日外国人数は昨年初めて年間1300万人を突破。政府は、東京五輪・パ

今回の「発言」の背景には、日本が官民挙げて観光立国を目指していることがある。

訪日外国人数は昨年初めて年間1300万人を突破。政府は、東京五輪・パ